

日本ユーラシア協会札幌支部 文化講演会

「ソ連と中央アジア」シリーズ～その1

中央アジアの社会主義体験は何であったのか？

講師：ベクトゥルスノフ ミルラン

(北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター、非常勤研究員)

ソ連期中央アジアの社会主義経験は何であったのか？本講義で国内外の最近の研究動向を踏まえながら、中央アジアのソ連的経験を包括的に紹介する。従来、ソ連の少数民族はソヴィエト政権の民族、文化、経済政策のために「近代化を成し遂げた」社会主義社会として見なされてきた。しかし、ある程度ソヴィエト近代化を経験したとしても中央アジアの伝統的な文化や社会的規範などが社会主義時代に痕跡を残さず消えていったわけではない。本講義でこのような問題意識を基に中央アジア諸民族のソヴィエト的経験を文化、経済、社会、政治などの様々な側面から紹介していく。

表 題：中央アジアの社会主義体験は何であったのか？

日 時：2023年11月21日（火）14時～16時

講 師：ベクトゥルスノフ ミルラン

北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター、非常勤研究員

実施方式：対面、オンライン併用

参加費：500円

お申し込み：対面は下記会場にて、オンラインは下記サイトまで。

会場：日本ユーラシア協会札幌支部

札幌市北区北9条西4丁目7-4 エルムビル4階

サイト：<https://central-asia01.peatix.com>

※オンラインのお申込には、Peatixのユーザー登録が必要です。

お問合せ：日本ユーラシア協会札幌支部 Tel: 011-707-9722

明嵐真 Email: karifu622-eurasia@yahoo.co.jp